

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月25日		記入者	内線	3164
部 名	環境保全部	課 名	公園課	課長名	大房薫
事務事業名	公園等維持補修費				
予算上の事務事業名	公園等維持補修費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		24310		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第4章 美しいまちなみと良好な居住環境を創造します				
基本施策名	第3節 身近な生活圏のみどり・公園の整備				事業開始年度
施 策 名	第1施策 身近な公園の整備				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
都市公園法、相模原市都市公園条例					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 維持・管理・補修 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
市民に潤いと憩い、安らぎを与えるオープンスペースとして、また、地域のコミュニティ形成の場や災害時の一時避難場所等、多様な活動の拠点となる街区公園等を適正かつ効果的に管理し、より一層の利用促進を図る。			一般市民		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
【16年度維持補修対象公園数】 街区公園・・・402箇所 近隣公園・・・8箇所(相模大野中央公園除く) 緑 道・・・5箇所(横浜水道道緑道含む) 広場公園・・・1箇所 【16年度決算額】 公園等維持補修費・・・150,555千円					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事 業 費	134,950	109,693	150,555	155,199	155,199
一般財源	134,950	109,693	150,555	155,199	155,199
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,390	8,010	8,070	8,070	8,070
事業コスト合計(a)	143,340	117,703	158,625	163,269	163,269
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	公園施設修繕			対象名称(単位)	公園面積(m <sup>2</sup> )
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	143,340	117,703	158,625	163,269	163,269
対象数	460,500	494,600	516,800	554,900	557,700
単位あたり経費(円)	311	238	307	294	293
前年度比		0.76	1.29	0.96	0.99

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	公園遊具の補修進捗状況		指標式と指標の説明	補修箇所数/公園数(14年度不明)	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	0.3	0.5		
目標	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2
目標達成度		1.57	2.70		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	苦情・要望の発生率		指標式と指標の説明	苦情・要望件数/公園数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	4.1	4.1	5.0		
目標	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
目標達成度	73.2	73.2	60.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		公園遊具安全確保対策を平成16年度から20年度までの5ヵ年計画において実施しており、引き続き、遊具の安全点検や、それに伴う修繕等を行い、利用者の安全確保を図る。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 遊具の安全確保対策により、計画的に全遊具を点検し、公園遊具の状況把握に努め、修繕対応を行う。 また、アダプト団体と連携を取りながら、より安全確保の強化を図る。			14 課題として認識されたこと いたずら等による遊具の破損が多く、公園利用に際して、マナーの周知が必要。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			